

## 【本書の楽しみ方】

『LIVE from』シリーズでは、これまで5回にわたってアメリカ、イギリス、韓国、中国で収録した「ナマの音」を提供し、好評を博してきました。本書は、これまでと同じ「現地録音」という手法を使ったオーストラリア英語の学習書です。

### 『LIVE from オーストラリア』のCDについて

本書のCDに収録されている会話やアナウンスは、シドニーとメルボルンでライブ録音したものです。会話に登場するのは、実在のホテルやレストラン、ショップなどの本物のスタッフと、それぞれの都市で暮らしているごく普通の人々。この中には、プロの話し手は一人もいません。どの人にも、ふだん話しているのと同じ状態で、自由に会話をしてもらっています。

そのため、言い間違いや文法的に正しくない言い方、内容的につじつまの合わない言い方、不自然な言葉使いなども見受けられます。しかし、彼らの「会話」は、まさに現在のオーストラリアで話されている「ナマの英語」。実際に現地に行ったつもりで、リスニングにチャレンジしてみてください。

### オーストラリア英語についてもっと知ろう

アメリカ英語、イギリス英語に特化した学習書はたくさん出版されていますが、オーストラリア英語のみを扱った本はほとんど見当たりません。また、オーストラリア英語というと、映画などのイメージから、「アクセントがわかりにくいのではないか」と心配する人もいることでしょう。

しかし、どんな言語にも地域や人によって違いがあるように、オーストラリア英語とアメリカ英語・イギリス英語との差は、あくまで「違い」にすぎません。「違うからわからない」ではなく、むしろそれぞれの英語の個性を楽しんでみましょう。

イギリスからの移民が入植したため、オーストラリア英語のベースにあるのはイギリス英語。しかし、その後、多文化国家へと発展していく過程で、オーストラリア独自の語彙や表現なども増えていきました。CDを聞けば、そうしたオーストラリア英語の個性や豊かさを感じることができると思います。

### 『LIVE from オーストラリア』の構成と学習のヒント

本書は、シドニーやメルボルンで体験しそうなさまざまなScene（場面）をイメージした構成になっています。特にシドニーでは旅や観光に関する場面、メルボルンではメルボルン独特の文化と教育に関する事柄を多く取り上げました。それぞれのSceneは、次のような構成になっています。

## CD

CDには、各Sceneの間に区切りの合図としてチャ임が入っています。自宅はもちろん通勤や通学の途中にも繰り返し聞いて、オーストラリア英語の音リズムを楽しんで下さい。

## トランスクリプションと対訳

CDに収録された音を書き起こしたトランスクリプションと、日本語の対訳が本書の柱です。中～上級レベルの方は、最初はテキストを見ずに「ナマのオーストラリア英語」に挑戦してみましょう。リスニングに自信のない方は、まず対訳を確認してから聞くと、内容がわかりやすいでしょう。

## オージーらしさを感じてみよう

CDを聞き取る上で注意したい表現を紹介したり、文法を解説しています。特にオーストラリア英語らしい表現には「Aussie English」マークを付けましたので、ぜひチェックして下さい。



03 支配人の説明を聞く

**The Breakfast** What is unique about The Hughenden hotel, I think, is basically the style of accommodation. Only having 36 rooms but those rooms range from smaller, what we call cosy rooms to major suites. A feature also is that at The Hughenden, all our guests receive a fully cooked country style breakfast. So guests come down of a morning, they sit down in the breakfast room where they can all meet and mingle and it becomes a very big family atmosphere.

Another very interesting part about it is, we see a pet friendly hotel. This is very unique in Australia. We're probably one of the only two in Sydney where people can come along, we have specially constructed rooms where people can bring their pet and keep them out in a balcony or on a courtyard. This is very interesting for people who are travelling; people who want to just come along with their pets.

| 英語   | 日本語  |
|--|--|
| What is unique about The Hughenden hotel, I think, is basically the style of accommodation.  | 「何かがユニークなところがあると思うのは、基本的に宿泊スタイルのユニークさです。」  |
| Only having 36 rooms but those rooms range from smaller, what we call cosy rooms to major suites.  | 「部屋は36室しかないけれど、部屋は小さいものから、大きなスイートまでいろいろあります。」  |
| A feature also is that at The Hughenden, all our guests receive a fully cooked country style breakfast.  | 「もう一つの特徴は、朝、全客にフルコースの朝食を出すことです。」   |
| So guests come down of a morning, they sit down in the breakfast room where they can all meet and mingle and it becomes a very big family atmosphere.  | 「朝、客は朝食室で集まり、みんな話しかけあえるので、とても家族のような雰囲気になります。」  |
| Another very interesting part about it is, we see a pet friendly hotel.  | 「もう一つ面白いところは、ペットが飼えるホテルなんです。」  |
| This is very unique in Australia. We're probably one of the only two in Sydney where people can come along, we have specially constructed rooms where people can bring their pet and keep them out in a balcony or on a courtyard. | 「これはオーストラリアでとても珍しいことです。おそらくオーストラリア、シドニーで唯一か二つしかないところなんです。客がペットを連れて来てもいいように、特別に作った部屋があるんです。客はペットを部屋の外、バルコニーかコートヤードで飼えます。」 |
| This is very interesting for people who are travelling; people who want to just come along with their pets.  | 「これは、旅行でペットと一緒に来たい人にとってとても面白いことです。」  |

**Fantastic! (That's lovely! Cool!)**  
「素晴らしい! (それは素敵! クール!)」

「素晴らしい! (それは素敵! クール!)」という表現は、オーストラリア英語でよく使われる表現です。これは、何かを褒めたり、気に入ったりするときに使われます。例えば、友人が新しい服を着たときや、旅行先で美味しい食べ物を見つけたときに使われます。

## Key Words

CDの英語を理解するのに役立つ単語を説明しています。シーンによっては難しい単語も出てきますので、対訳と一緒に最初に目を通していいでしょう。

## ミニコラム

「ちょっと一言」では、知っておくことになる表現、本書で取り上げた内容への理解を深めるためのミニ知識などを紹介しています。

## コラム

「オーストラリア万華鏡」では、シドニーやメルボルンの文化などについてクローズアップしました。また、録音に協力していただいたホテルやショップ、レストランなどの紹介ページも設けました。住所やウェブサイトなどの情報を載せましたので、「ぜひ行ってみたい」と思う方は参考にして下さい。なお、情報はすべて2009年1月現在のものです。実際に訪れる際には、ウェブサイトなどで必ず最新の情報を確認して下さい。



## 『LIVE from オーストラリア』を楽しみましょう

本書はオーストラリア英語に興味のある方を対象としています。まずは、オーストラリアの英語の音や現地の雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。

会話の内容は、ホテルやレストランなど、旅行でよく使うフレーズから、オペラハウスのガイドツアーの説明、ヤラパレーのワイナリーのようにちょっと専門用語の多い会話、英語学校や大学での会話まで、話し手の英語も、きれいな標準語から、ちょっとなまりのあるもの、ものすごく早口なもの、と実にさまざま。登場するオーストラリア人も幅広い年齢層の方々に協力していただいています。一度で聞き取れないからといってがっかりせず、トランスクリプションや単語の説明、解説を参考にしながら何度も聞いて、耳を慣らしていくうちに、だんだん理解が深まるでしょう。

トランスクリプションの英語は、言い間違えや言いよどみ、文法的な間違いなどもあって、文字だけだとかえってわかりづらいかもしれません。翻訳では、英語をかなり意識しているところもありますし、口癖のような英語はあえて訳さなかったところもあります。文字は参考程度に、イキイキとした現地の人たちの英語を耳で楽しんでみてください。

本書は、「耳で旅するオーストラリア」をコンセプトに、英語を通して、オーストラリアの文化や背景を少しでも理解してもらおうと企画しました。文化を理解するにはその国の言葉を理解するのが早道であることは言うまでもありません。本書で、今のオーストラリアの雰囲気を少しでも感じていただけたら幸いです。

2009年1月 木谷朋子

本書に掲載されている電話番号は、オーストラリア国内での電話番号表記です。日本から電話をかける際には、国際電話識別番号(001, 0033, 0041) + 010 + 61 (オーストラリアの国番号) + 0を除いた市外局番(シドニーは2、メルボルンは3) + 相手の電話番号となります。ただし、「マイライン」や「マイラインプラス」に登録している場合は、最初につける電話会社の識別番号は不要です。

# CONTENTS

本書の楽しみ方 ..... iii

Special Thanks ..... viii

国際的評価の高いオーストラリアで学ぼう! ..... 1

## シドニーを旅する

|                 |                                 |    |
|-----------------|---------------------------------|----|
| <b>Scene 1</b>  | <b>ホテルにチェックイン!</b>              |    |
|                 | ヒューエンデン・ホテルに到着                  | 8  |
|                 | ホテルをチェックアウト                     | 12 |
|                 | 支配人の説明を聞く                       | 14 |
| <b>Scene 2</b>  | <b>シドニー・ビジターセンターへ行こう!</b>       |    |
|                 | シドニー・ビジターセンターの役割                | 18 |
|                 | シドニーバスについて聞く                    | 20 |
| <b>Scene 3</b>  | <b>シドニー・エクスプローラーに乗ろう!</b>       |    |
|                 | 車内アナウンスを聞く                      | 26 |
| <b>Scene 4</b>  | <b>パブツアーに参加しよう!</b>             |    |
|                 | ロックスのパブはシドニーの歴史遺産               | 30 |
|                 | ロックスの歴史を聞く                      | 32 |
| <b>Scene 5</b>  | <b>ロックスの人気パブへ行こう!</b>           |    |
|                 | パブでビールを注文する                     | 36 |
|                 | ロード・ネルソン・ブリュワリーホテルの話            | 42 |
|                 | ヒーロー・オブ・ウォータールーの話               | 44 |
| <b>Scene 6</b>  | <b>レストランでディナーを楽しもう!</b>         |    |
|                 | 料理をオーダーする                       | 48 |
| <b>Scene 7</b>  | <b>オペラハウスのガイドツアーに参加しよう!</b>     |    |
|                 | オペラハウスの歴史①～②                    | 54 |
|                 | オペラハウスのコンサートホール                 | 56 |
|                 | オペラハウスと建築家ヨーン・ウツソン              | 58 |
| <b>Scene 8</b>  | <b>リサイクルショップでブランド品を調達!</b>      |    |
|                 | ブランド品が安く買えるおしゃれな店               | 62 |
|                 | パーティー用のドレスを探す                   | 64 |
| <b>Scene 9</b>  | <b>ボンダイビーチのスパで癒やし体験</b>         |    |
|                 | スパの予約をする                        | 72 |
|                 | スパマネージャーの話                      | 76 |
| <b>Scene 10</b> | <b>『グッドフードガイド』の共同編集長にインタビュー</b> |    |
|                 | 『グッドフードガイド』について聞く               | 80 |
|                 | オーストラリアのハイティアー                  | 82 |
| <b>Scene 11</b> | <b>ホールフードって何?</b>               |    |
|                 | 生協コーディネーターの話                    | 88 |
| <b>Scene 12</b> | <b>シドニーサイダーに聞いたシドニーの魅力</b>      |    |
|                 | シドニーのおすすめスポットを聞く                | 92 |
|                 | 「国境なき医師団」での活動内容を聞く              | 94 |

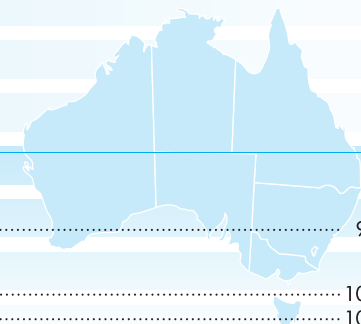
## メルボルンで学ぶ

|                 |                                       |     |
|-----------------|---------------------------------------|-----|
| <b>Scene 1</b>  | <b>シティサークルトラムに乗ろう!</b>                |     |
|                 | 車内アナウンスを聞く①～②                         | 98  |
| <b>Scene 2</b>  | <b>メルボルンのカフェ文化を知ろう!</b>               |     |
|                 | フラットホワイトを注文する                         | 102 |
|                 | ブルネッティの説明を聞く                          | 104 |
| <b>Scene 3</b>  | <b>王立植物園のガーデンツアーに参加しよう!</b>           |     |
|                 | ガーデンガイドの説明を聞く①～②                      | 108 |
| <b>Scene 4</b>  | <b>人気チョコレートショップへ行こう!</b>              |     |
|                 | ココ・ブラックでチョコレートを買う                     | 114 |
|                 | ココ・ブラックの創業エピソードを聞く                    | 118 |
| <b>Scene 5</b>  | <b>レンタカーを借りよう!</b>                    |     |
|                 | バジェット・レンタカーで車を借りる                     | 122 |
| <b>Scene 6</b>  | <b>ヤラバレーのワイナリーへ出かけよう!</b>             |     |
|                 | ワイナリーツアーに参加する①～②                      | 128 |
| <b>Scene 7</b>  | <b>メルボルニアンに聞いたメルボルンの魅力</b>            |     |
|                 | グルメ、音楽、ファッション充実のメルボルン                 | 134 |
|                 | フィリップアイランドのペンギン                       | 136 |
|                 | お気に入りのレストランは「ナンバー8」                   | 138 |
| <b>Scene 8</b>  | <b>ヘイルズ・インスティテュートで英語を学ぼう!</b>         |     |
|                 | オリエンテーションに参加する                        | 144 |
|                 | ディレクターの説明を聞く                          | 146 |
|                 | 授業を聞く                                 | 150 |
| <b>Scene 9</b>  | <b>ウィリアム・アングリス・インスティテュートを見学してみよう!</b> |     |
|                 | ウィリアム・アングリス・インスティテュートの特徴を聞く           | 154 |
|                 | 料理学科のプログラムについて聞く                      | 156 |
|                 | オーストラリア料理について聞く                       | 158 |
|                 | 現役学生に学校の魅力を聞く①～③                      | 162 |
| <b>Scene 10</b> | <b>ディーキン大学を見学してみよう!</b>               |     |
|                 | 校長先生からディーキン大学の魅力を聞く①～③                | 168 |
|                 | 現役学生に大学の魅力を聞く①～④                      | 176 |
|                 | ビールをこよなく愛すオージー                        | 47  |
|                 | オーストラリア英語雑感① 英語の違いはその人のバックグラウンドにあり!   | 53  |
|                 | オーストラリア英語雑感② オーストラリア英語はわかりやすい         | 87  |
|                 | ヨーロッパ移民がもたらしたコーヒー文化                   | 143 |

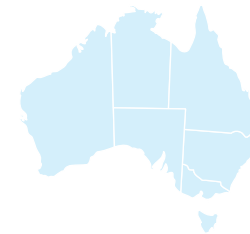


※CDの収録時間は約78分です。また、制作者の意図によりノイズが入っている部分があります。

カバーデザイン 寺井恵司  
本文デザイン (有)ディーイーピー  
DTP組版 朝日メディアインターナショナル(株)、(有)ディーイーピー  
ミキシングスタジオ (有)スタジオ グラッド



Olivier Charpenay博士  
西オーストラリア大学付属英語学校



### ▶ 英語は多様なアクセントや語彙の違いがある言語

英語は、ビジネスや研究、エンターテインメント、観光の分野で広く世界の共通語として使われている言語ですが、実はまったく同じ言語というわけではありません。アメリカやイギリス、カナダ、アイルランドなどの国々や、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど南半球の英語圏で話されている英語を聞くと、英語にはアクセントや語彙の違いなど、国や地域によっていろいろなバリエーションがあることがわかります。また、言葉は常に変化するもので、現在の英語と昔の英語とを比べると、文の構造や文法が微妙に変化しています。英語は、こうした地域間の違いや時代による変化があっても、多くの人々に話されている共通語としての地位が確立された言語といえます。

### ▶ オーストラリア人と特定できるのは語彙の選択の違い

ここではオーストラリア英語で効果的にコミュニケーションがとれるかという点について考えてみたいと思います。興味深いことに、英文法のルールはどの地域においても同じです。文法に関する限りは、ティム・ウィントン（オーストラリア人作家）のオーストラリア英語とマイケル・シェイボン（アメリカ人作家）のアメリカ英語を区別することは不可能です。それゆえに、文法構造は英語の違いの決め手にはなりません。

しかし、言語学者は文献に軽く目を通すだけで、その著者の国籍を簡単に言い当てることができます。これは、たとえ文法構造が普遍的で共通であったとしても、語彙の選択が異なってくるためです。オーストラリア人作家は、オーストラリア人特有とまではいかないものの、オーストラリア人とははっきり特定できるさまざまな語彙を用いています。こうした言葉には、mate（友達）、sheila（女性）、reckon（…と考える）などがあります。

Macquarie（マッコリー）辞書には、主にオーストラリア人が頻繁に使用する膨大な数の口語表現が掲載されていますので、典型的な「オージー（オーストラリア人）」の言葉を使えば、誰でもオーストラリア人作家になりすますことができます。また、「towardとtowards」、「colourとcolor」、「centreとcenter」などの単語に関しては、前者のような伝統的な英国式のつづりを使うこともできれば、後者のように米国式のつづりを使うことも可能です。

また、作家は語彙を選択する際に、自分自身を表現する手段としてよりも、その言葉が与える効果ということを頭に入れて言葉を選んでいきます。例えば、「loving（愛らしい）」という

語彙を使うところを、あえて「amorous（色っぽい）」という言葉を使ったりするのはそのためです。また、「utterly repugnant（不愉快極まりない）」や「totally gross（胸くそ悪い）」は状況を説明する同じ意味を持つ表現ですが、前者はより教養の高い人々に向けられた表現なのに対し、後者は意図的に若い世代に向けられた表現で、2つの言葉の持つニュアンスは異なります。語彙の選択は、国や地域による違いもありますが、使う人の教養を判断する基準にもなりますし、世代の違いなども如実に反映されます。

### ▶ アクセントに地域差がないオーストラリア英語

オーストラリア英語とその他の英語圏で話されている英語を比較し、明確に定義しようとする場合、発音こそが最も重要な特定要素になるでしょう。オーストラリア英語にオーストラリア特有のアクセントがあるのは事実です。ただ、オーストラリア英語のアクセントは、大陸全土である程度同じであるため、ホバートであれ、シドニー、メルボルン、パースであれ、人々の話し方には大きな違いはありません。大都市と地方では顕著な違いがあるとも考える人もいますが、それは必ずしも真実ではありません。

これに対し、アメリカ英語やイギリス英語には、地域による方言（訛り）が明確に存在します。例えば、テキサスやブルックリン、カリフォルニアで話されている英語は同じアメリカ英語でもアクセントにかなり違いがありますし、イギリス英語も北部のアクセントやスコットランド訛り、ロンドンの下町コックニー訛りのように、地域によりアクセントには違いがあります。

このように、英語には数多くのアクセントが存在するため、どのアクセントが最も優れているとか、最も純粋であるかについての判断を下すことはできません。アクセントは言語に個性をもたらすものですので、ためしに、オーストラリア人やスコットランド人、カナダ人が朗読した詩や短い文章を聞いてみてください。その違いを知ることは面白い体験となるはずです。

オーストラリア英語に対して、アクセントの違いや語彙の差などで、アメリカ英語やイギリス英語との違いを気にしている人がいるかもしれません。しかし、オーストラリア英語は音楽や映画などにおいても広く普及しており、自然に受け入れられ、どこでも通用し大きな特殊性はありません。また、オーストラリアの英語教育は、国際色豊かな環境で自分の英語レベルに合った質の高い教育を受けられるのが特徴です。ぜひオーストラリアに英語を学びに来てください。

## ホテルにチェックイン!

CD  
01

## ヒューエンデン・ホテルに到着

**Visitor:** Would you have a booking there for Gervay G-E-R-V-A-Y?

**Reception:** Yes, I see a booking here. Your first name's Elizabeth?

**Visitor:** Yes, it is.

**Reception:** K, yep, you've been checked into a single room.

**Visitor:** What's the next grade up?

**Reception:** We have a Cosy Room with a double bed and its own ensuite.

**Visitor:** Have you got another sort of room? I was hoping for a queen bed.

**Reception:** Oh, yes, definitely. We have a Victorian room, which is a queen bed and its own ensuite as well. Did you prefer maybe a queen bed instead of a single bed?

**Visitor:** Yes ... (**Reception:** Yep?) please, could I have a queen room? Do you have any rooms with a bath tub?

**Reception:** Yes, we do. So, we have a King Deluxe, which has a king bed in there and it's a much bigger room, and it has a private bath.

**Visitor:** I'd love a room with a bath tub on this day.

ヒューエンデン・ホテルは、英国ヴィクトリア時代の様式を残すオーストラリアでは珍しい歴史的建造物。いにしへの雰囲気を残す館内、おいしい料理やハイティーも有名。宿泊客だけでなく、地元の人にも愛されている。



## 登場人物

シドニー出身の若い女性フロント係とメルボルンから旅行に来た年配の女性宿泊客

## 状況

ホテルに到着した女性がチェックインするところ

**宿泊客:** えーと、ジュベー G-E-R-V-A-Y (ジー・イー・アール・ヴィー・エイ・ワイ) で予約は入っていますか?

**フロント係:** はい。ご予約承っております。下のお名前はエリザベス様でよろしいでしょうか?

**宿泊客:** ええ、そうです。

**フロント係:** はい、シングルルームでのご予約が入っております。

**宿泊客:** 次にいいお部屋はどれかしら?

**フロント係:** ダブルベッドで、コージー (居心地の良い) ルームと呼ばれるプライベート・バスルーム付きのお部屋がございます。

**宿泊客:** ほかのお部屋はあるかしら? できればクイーンベッドがいいのだけど。

**フロント係:** はい、もちろんです。私どものホテルには、クイーンサイズのベッドにプライベート・バスルームが付いているヴィクトリアルームという名前のお部屋がございます。シングルベッドよりもクイーンベッドの方がお好みでしょうか?

**宿泊客:** ええ… (フロント係: はい?) お願いします。クイーンサイズのベッドのあるお部屋に泊まれるかしら? それとバスタブのあるお部屋はあるかしら?

**フロント係:** はい、ございます。キングサイズのベッドで、かなり大きなお部屋ですが、プライベート・バスルームがあるキングデラックスというお部屋がございます。

**宿泊客:** バスタブのあるお部屋に泊まりたいのですけど。

**Reception:** Yep, definitely, I'll check you into that.

**Visitor:** Thank you.

**Reception:** I'll get your reservation cards ...

**Visitor:** Thank you.

**Reception:** I just need your signature, address and email.

**Visitor:** Right, aha! I sign here, email and address. Terrific! I'm looking forward to it. And I hope there's breakfast included in the rate.

**Reception:** Yes, there's a full hot English breakfast included.

**Visitor:** Fantastic, and I also heard that, Paddington markets is just around the corner ...?

**Reception:** Yes, yes it is. It's three minutes away from here. So, you can take a walk and have a look around the area as well at the same time.

**Visitor:** Fantastic! Thank you very much.

## Key Words

|                   |                                   |                               |  |
|-------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--|
| <b>yep</b>        | yes の代わりに使う口語表現                   | <b>reservation card</b>       | ホテルの予約カード。<br>registration card という場合もある   |
| <b>cosy</b>       | こじんまりとした、居心地の良い。<br>アメリカ英語では cozy | <b>full English breakfast</b> | 伝統的な「フルコースのイングリッシュ・ブレックファスト」とは、トースト、卵料理、ベーコン、ソーセージ、バイクドビーンズ、焼きマッシュルーム、焼きトマト、紅茶で構成されるボリューム満点の朝食 |
| <b>double bed</b> | ダブルベッド                            | <b>Paddington Market</b>      | パディントンマーケット。毎週土曜に開かれている  |
| <b>ensuite</b>    | バスとトイレが付いている部屋のこ<br>と             |                               |  |
| <b>queen bed</b>  | クイーンサイズのベッド。ダブルよ<br>り大きいベッド       |                               |  |
| <b>king bed</b>   | キングサイズのベッド。クイーンサ<br>イズより大きい特大ベッド  |                               |  |

**フロント係:** はい、もちろんです。それではそちらのお部屋をお取りいたします。

**宿泊客:** ありがとう。

**フロント係:** では、予約カードへご記入を…。

**宿泊客:** ありがとう。

**フロント係:** ご署名、ご住所、E メールアドレスをご記入いただけますでしょうか？

**宿泊客:** はい、えーっと、ここにサインして、E メールと住所ね。いいわ！ 楽しみだわ。料金が朝食が含まれているといいのだけれど。

**フロント係:** はい、フルコースのイングリッシュ・ブレックファストが含まれております。

**宿泊客:** すばらしいわ。それと、パディントンマーケットがすぐ近くにあると聞いたんだけど…。

**フロント係:** はい、ございます。ここから3分のところですよ。歩いて行けますし、ついでにこの周辺を歩いて見てまわることもできます。

**宿泊客:** ステキだわ！ どうもありがとう。



ユナイティングチャーチで毎週土曜に開かれるパディントンマーケット。洋服から家具まで、約250の露店が出店するフリーマーケット



オージーらしさを感じてみよう

Aussie English

## Would you have a booking there for Gervay G-E-R-V-A-Y?

ジュベアー G-E-R-V-A-Y で予約は入っていますか？

この場合の **Would you have ...?** は、「～がありますか？／～はありますか？」とホテルやレストランなどで予約を確認するときに使うオーストラリア英語らしい言い方。Do you have ...? と尋ねるときは NO と言われる可能性を含んでいるが、**Would you have ...?** は予約が入っているのが確実な状況で使う。フレンドリーな口語表現。

**booking**: 「予約」を意味する **booking** はイギリス英語。アメリカ英語では **reservation** をよく使う。

## ▶▶▶ Have you got another sort of room?

ほかのお部屋はあるかしら？

**Have you got ...?**: 「…を持っていますか？／…はありますか？」を意味する表現。この表現も典型的なイギリス英語だ。アメリカ英語なら **have** のみ、あるいは **got** のみを使い **Do you have ...?** とか **You got ...** といった表現を使う。

## ▶▶▶ Gotta check out now.

チェックアウトしたいのですか？

**Gotta**: **(have) got to** の略。アメリカ英語的なくだけた口語表現。I gotta go now. 「もう行かなくちゃ」、I gotta invite Ann over to my party. (アンをパーティーに招待したいわ) など、さまざまなシーンで使える。



大小さまざまなタイプの部屋を持つヒューエンデン・ホテル。写真はクイーンヴィクトリアルーム



Sydney

## しょうしゅ 瀟洒な高級住宅街に位置する ヴィクトリア朝様式のヒストリカルホテル

オーストラリアへ行くことが決まったとき、私は約10年前に女性誌の取材で泊まった小さなブティックホテルのことを思い出した。星的には4つ星。強く印象に残っていたのは、モダンなホテルが多い中で、1872年に建てられた個人邸宅が前身という歴史的背景があったからだ。

この建物は、イギリスから移民してきた外科医フレデリック・ハリソン・クワイフェ (Dr. Frederick Harrison Quaife) 博士が、家族と住むために建てた家だった。

その後、邸宅は看護婦の寮やゲストハウス、ダンスホールに変わり、1913年には女子校のリヴィエール・カレッジになるなど、所有者はめまぐるしく変わっていく。

### 歴史ある建物を蘇らせたジュベアー姉妹

長らく荒廃していたこの建物を、現代に蘇らせたのは、1992年にこの建物を見つけたスザンヌとエリザベス・ジュベアーの姉妹だった。彼女たちはこの建物の歴史的価値を大切にしながら丁寧に修復をし、ヒストリカルホテルとしてオープンさせた。

19世紀当時のヴィクトリア朝様式にゴシック-イタリア風テイストを加えたエレガントな建物は、今もハイソな個人邸宅の面影を色濃く残している。大理石の暖炉、室内の調度品に、本物のアンティークやコレクタブルズをさりげなく置くなど、この建物にふさわしい雰囲気を保たれているのが魅力だ。

部屋数は36室と少ないが、家庭的な雰囲気や宿泊料金に朝食代が含まれているスタイルは以前のまま。レストランやカフェだけの利用やウエディングパーティー、日曜のハイティー



クワイフェ博士の寝室は今は「マナースイート」に



1階のロビーラウンジとレストラン

など、宿泊客以外の利用客も多く、地元の人たちにも親しまれている。また、伝統的な建築様式ではあるが、ワイヤレスインターネットが無料で使えるなど、設備に関しては21世紀仕様なのが嬉しい。

周囲はおしゃれなショップやレストランが点在するパディントン&ウラーラ地区。シドニーの中でも歴史の古い建物が多い高級住宅地だ。今回、オーナーのエリザベスさんにも録音に協力していただいている。

DATA

### The Hughenden Boutique Hotel

© 14 Queen Street, Woollahra NSW 2025  
☎02-9363-4863 ☎02-9362-0398

URL [www.hughendenhotel.com.au](http://www.hughendenhotel.com.au)